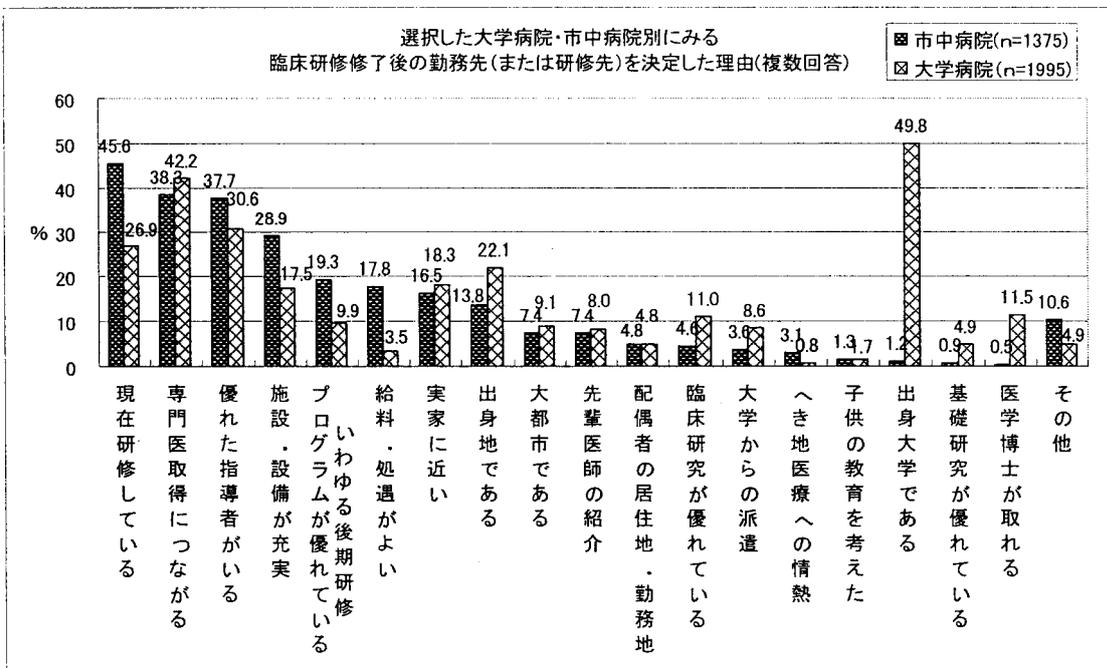
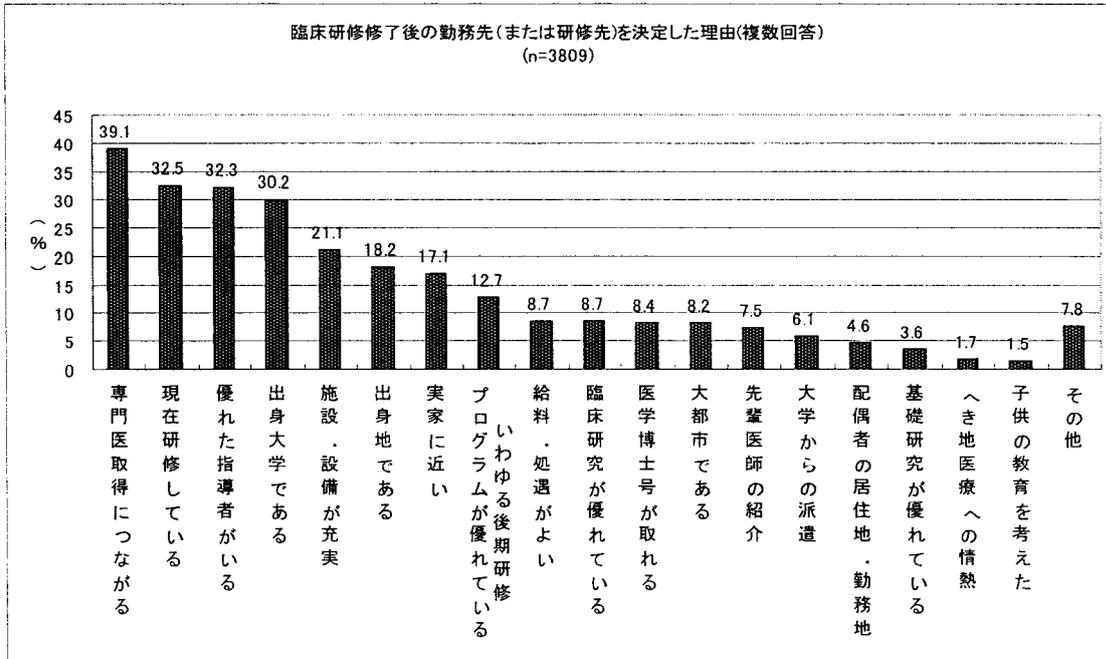


(7)臨床研修修了後の研修・勤務先を決定した理由

臨床研修修了後の勤務・研修先を決定した理由では、全体では、「専門医取得につながる」(39.1%)、「現在研修している」(32.5%)、「優れた指導者がいる」(32.3%)、「出身大学である」(30.2%)等が上位を占めた。

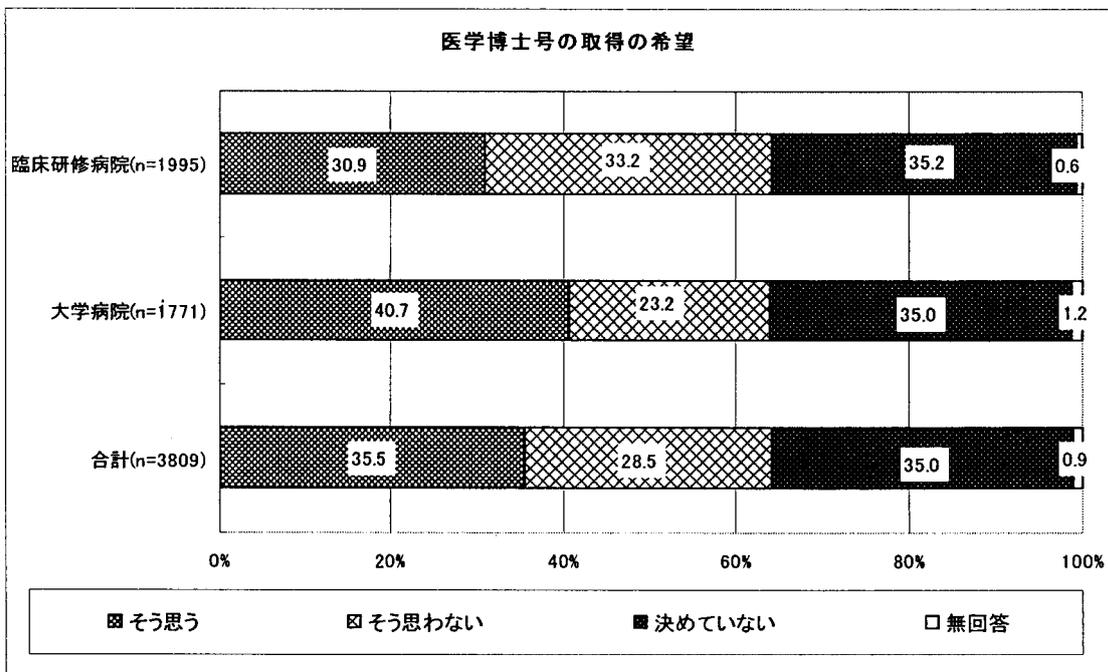
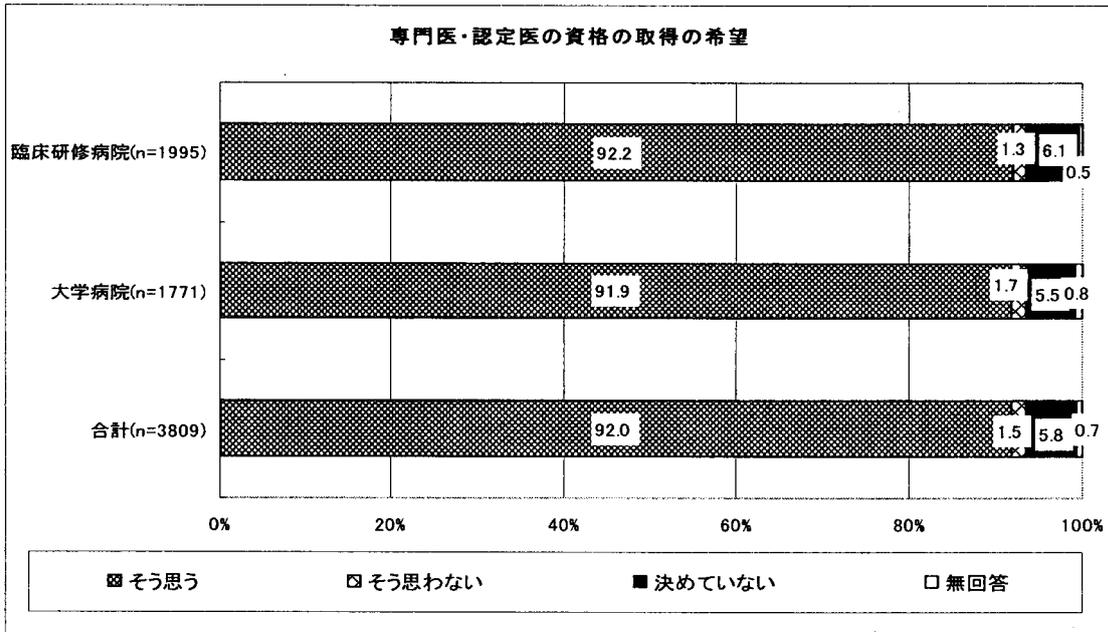


(8) 専門医・認定医・博士号の取得希望について

1) 専門医・認定医/医学博士の資格取得希望(臨床研修病院/大学病院別)

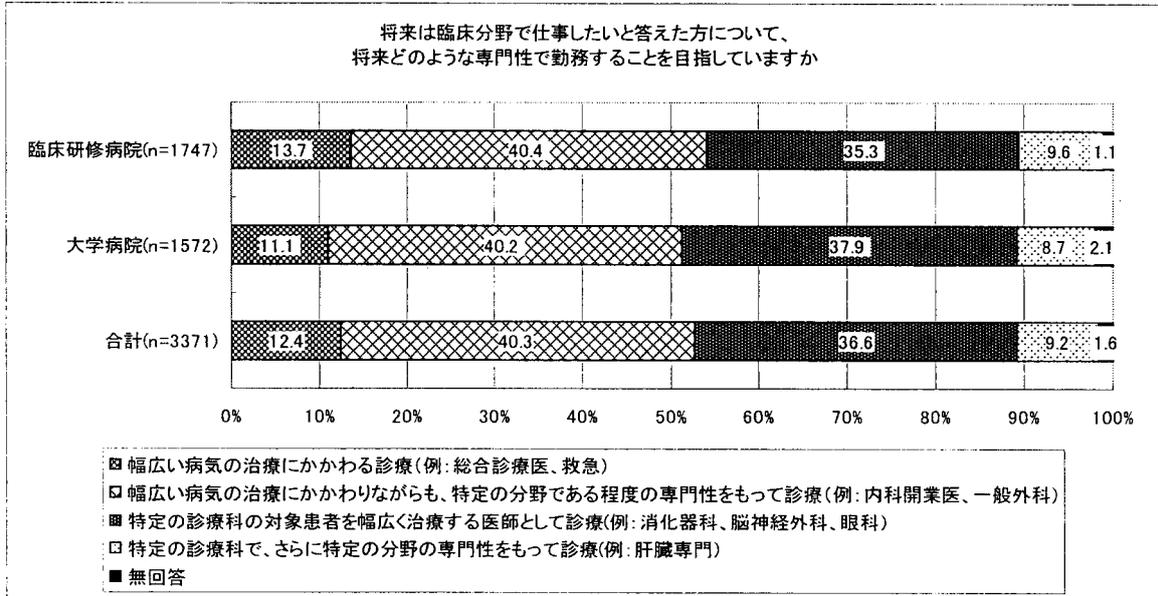
研修医が専門医、認定医の取得を希望している割合は、臨床研修病院では92.2%、大学病院では91.9%であった。

また、研修医が博士号の取得を希望している割合は、臨床研修病院では30.9%、大学病院では40.7%であった。



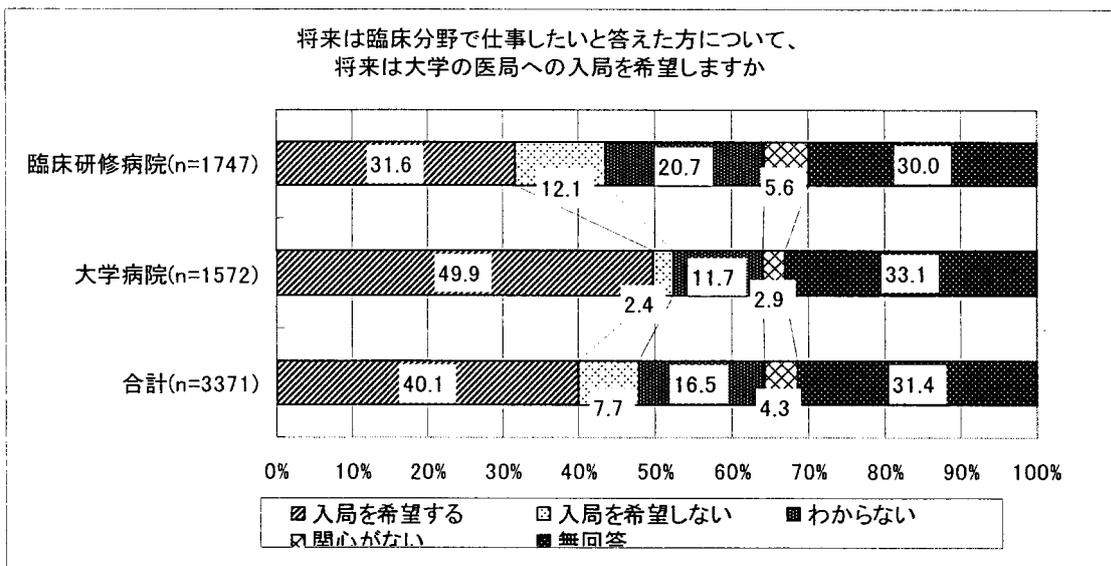
2) 専門性の範囲(臨床研修病院/大学病院別)

将来は臨床分野で仕事したいと回答した研修医において、「幅広い病気の治療にかかわりながらも特定の分野で専門性をもって診療したい」が 40.3%、「特定の診療科対象患者を幅広く治療する医師として診療したい」が 36.6%であった。



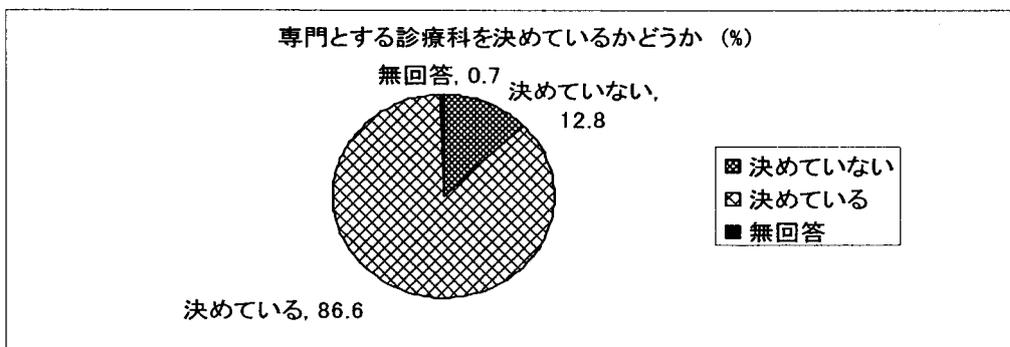
(9) 大学の医局へ入る希望(臨床研修病院/大学病院別)

将来は臨床分野で仕事したいと回答した研修医において、大学の医局へ入局希望があると回答した割合は、臨床研修病院にて 31.6%、大学病院において 49.9%であった。



(10)臨床研修修了後に進む診療科を決めているかどうか

臨床研修修了後に専門とする診療科を決めている者は3298人(86.6%)であった。



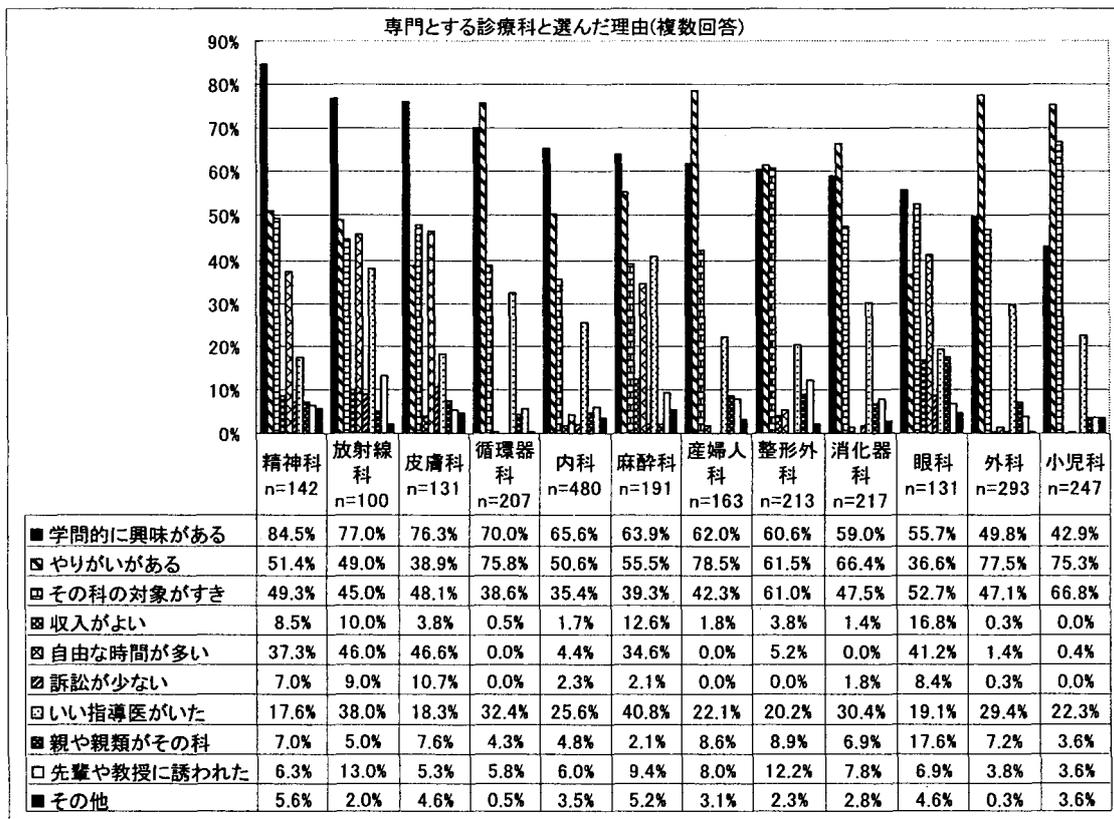
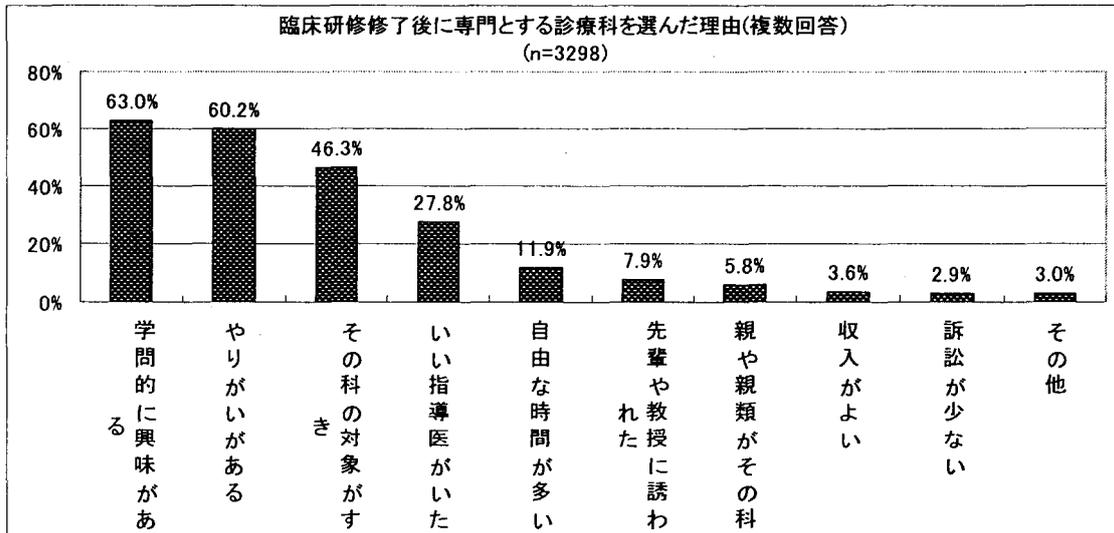
(11)希望する診療科

専門とする診療科が決まっていると答えた3298人のうち、最も多い科は内科で14.6%であった。また、小児科は7.5%、産婦人科は4.9%、麻酔科は5.8%であった。小児科、産婦人科、麻酔科に関しては、20代医療施設従事医師診療科別割合(平成14年)よりも高くなっている。

診療科	人数	割合	診療科	人数	割合
内科	480	14.6%	脳神経外科	57	1.7%
外科	293	8.9%	心臓血管外科	46	1.4%
小児科	247	7.5%	総合診療科	25	0.8%
消化器科	217	6.6%	小児外科	16	0.5%
整形外科	213	6.5%	呼吸器外科	15	0.5%
循環器科	207	6.3%	リハビリテーション科	15	0.5%
麻酔科	191	5.8%	病理	15	0.5%
産婦人科	163	4.9%	基礎系	11	0.3%
精神科	142	4.3%	リウマチ科	8	0.2%
眼科	131	4.0%	心療内科	6	0.2%
皮膚科	131	4.0%	美容外科	6	0.2%
放射線科	100	3.0%	緩和ケア	5	0.2%
呼吸器科	92	2.8%	医療行政職	5	0.2%
泌尿器科	86	2.6%	アレルギー科	3	0.1%
耳鼻咽喉科	84	2.5%	その他	67	2.0%
形成外科	71	2.2%	無回答	18	0.5%
救命救急	70	2.1%	総計	3298	100.0%
神経内科	62	1.9%			

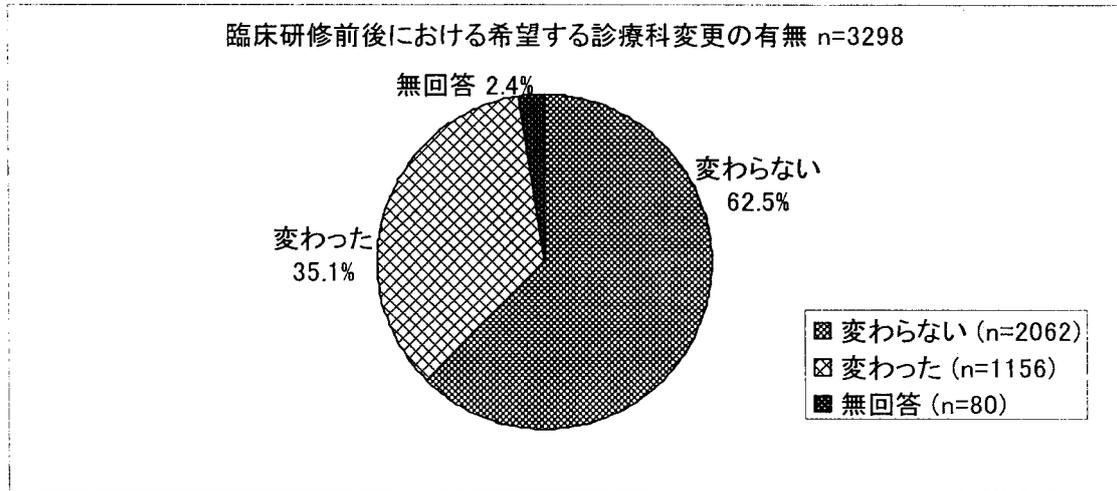
(12)(診療科別) 診療科を選んだ理由

「学問的に興味がある」(63.0%)、次いで、「やりがいがある」(60.2%)が多く、精神科、放射線科、皮膚科、循環器科では「学問的に興味がある」が70%以上となっており、産婦人科、外科、小児科、循環器科では「やりがいがある」が70%以上となっていた。



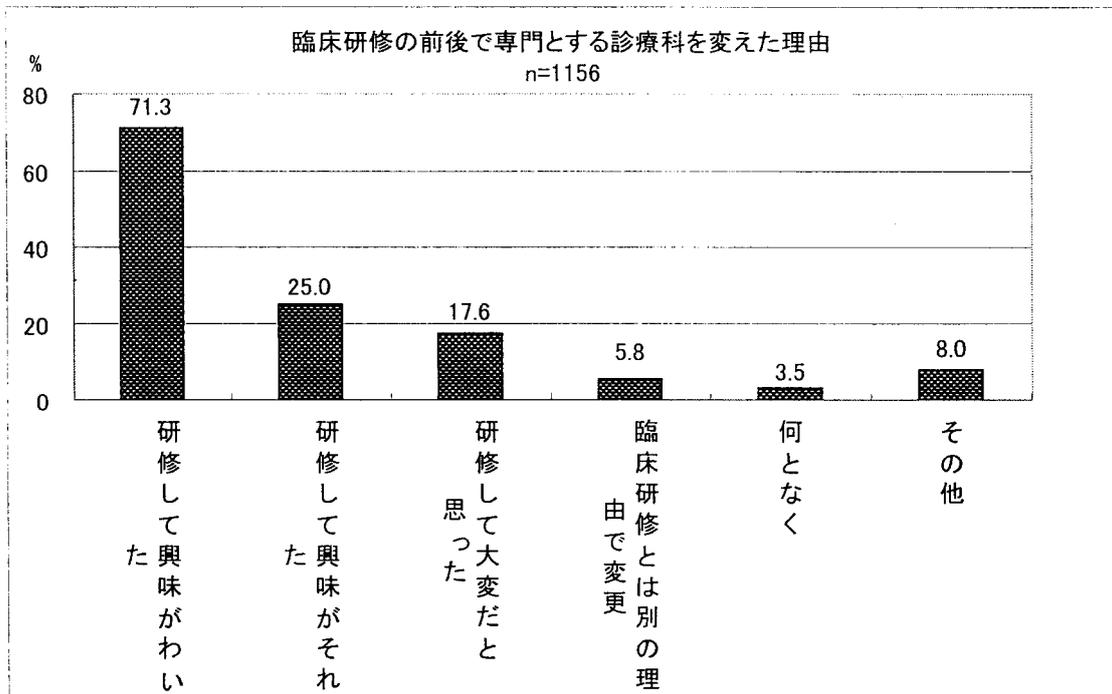
(13)(診療科別) 研修後の診療科変更について

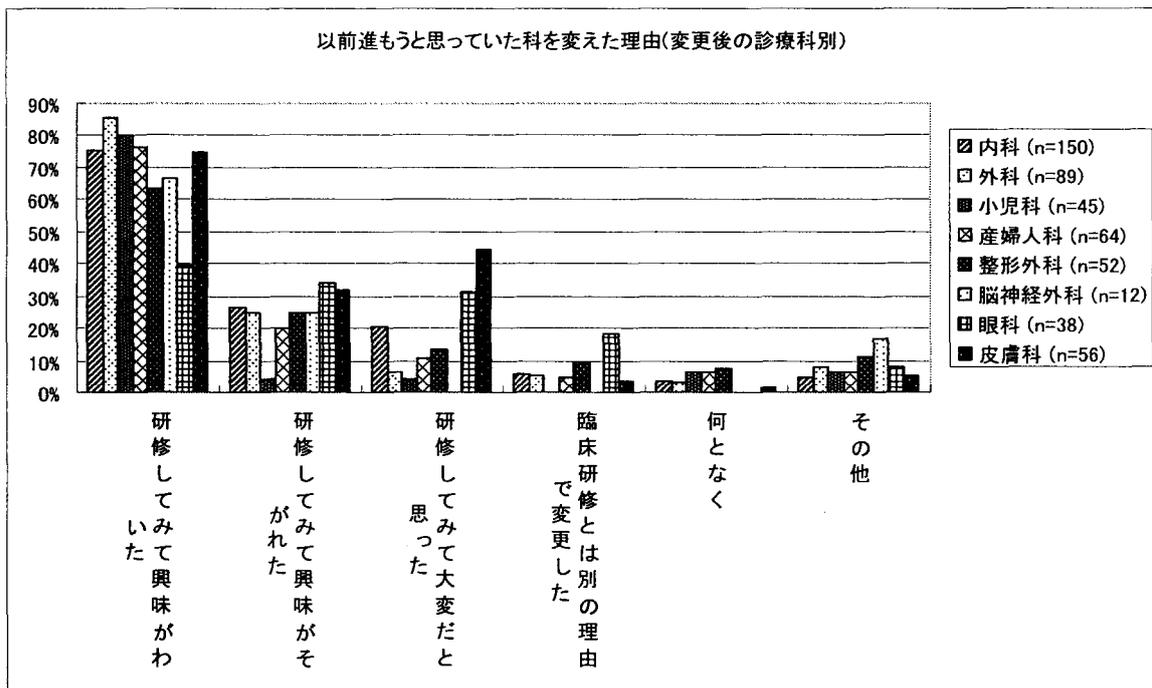
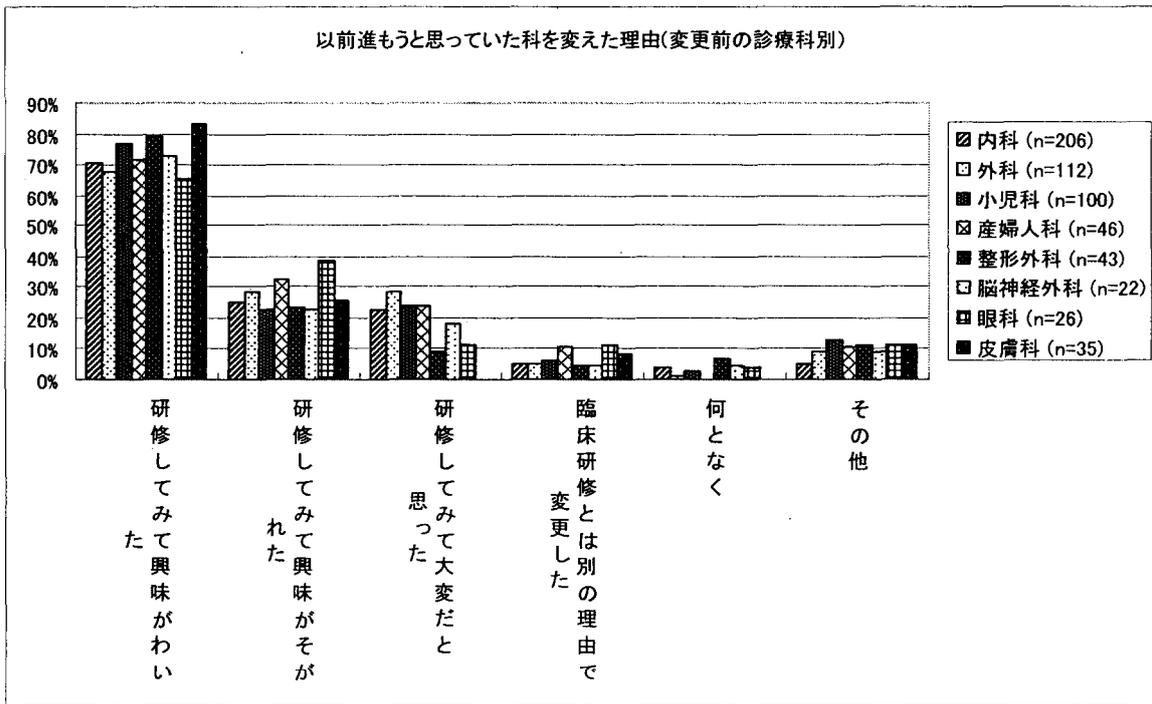
臨床研修の前後で将来専門とする診療科を変えた研修医は、1156人(35.1%)であった。



(14)(診療科別) 診療科を変更した理由

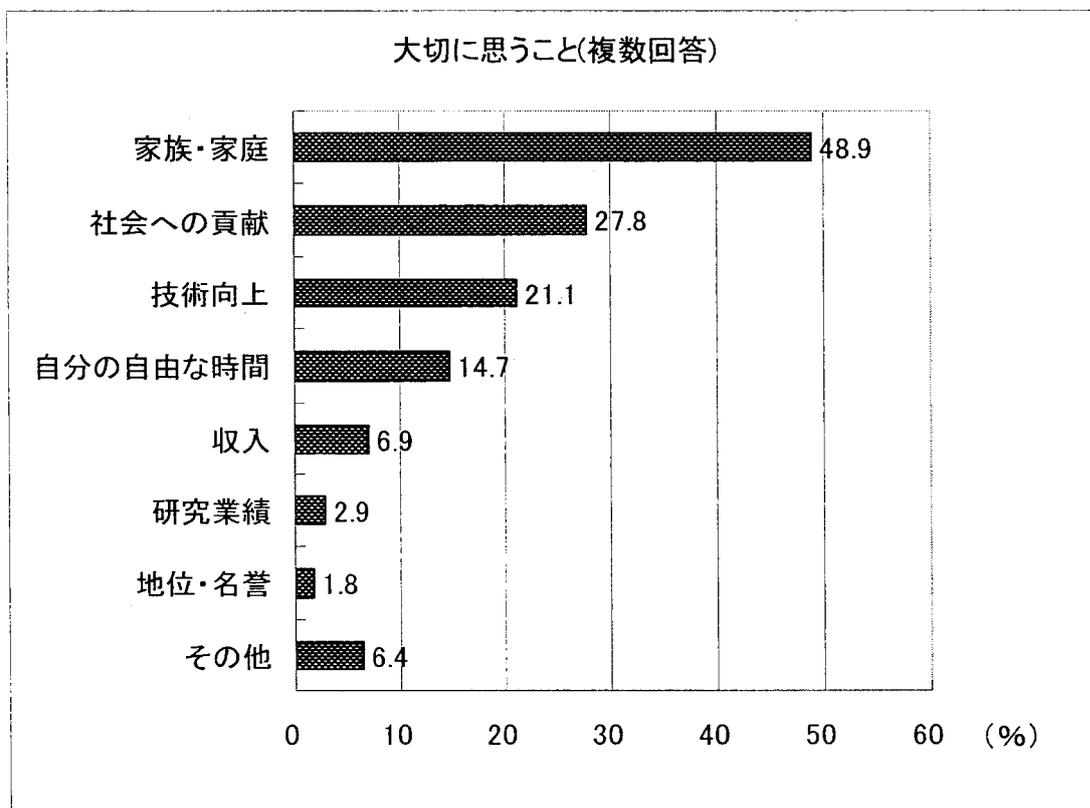
診療科を変更した理由は「研修してみて興味がわいたから」(71.3%)が最も多く、「研修してみて大変だと思った」は17.6%であった。





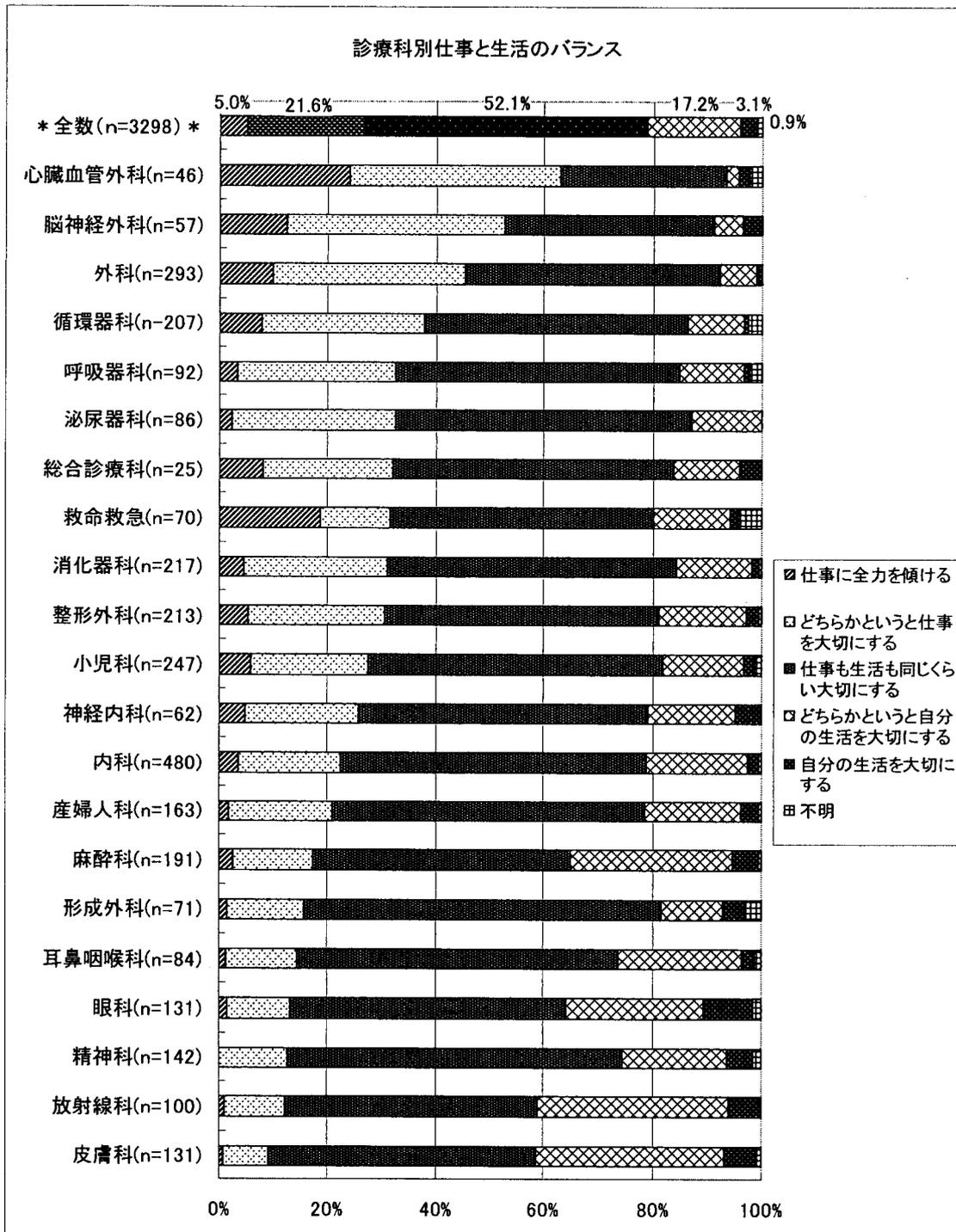
(15)大切に思うことについて

最も大切に思うことは「家族・家庭」が最も多く、48.9%であった。ついで「社会への貢献」が27.8%、「技術向上」が21.1%であった。



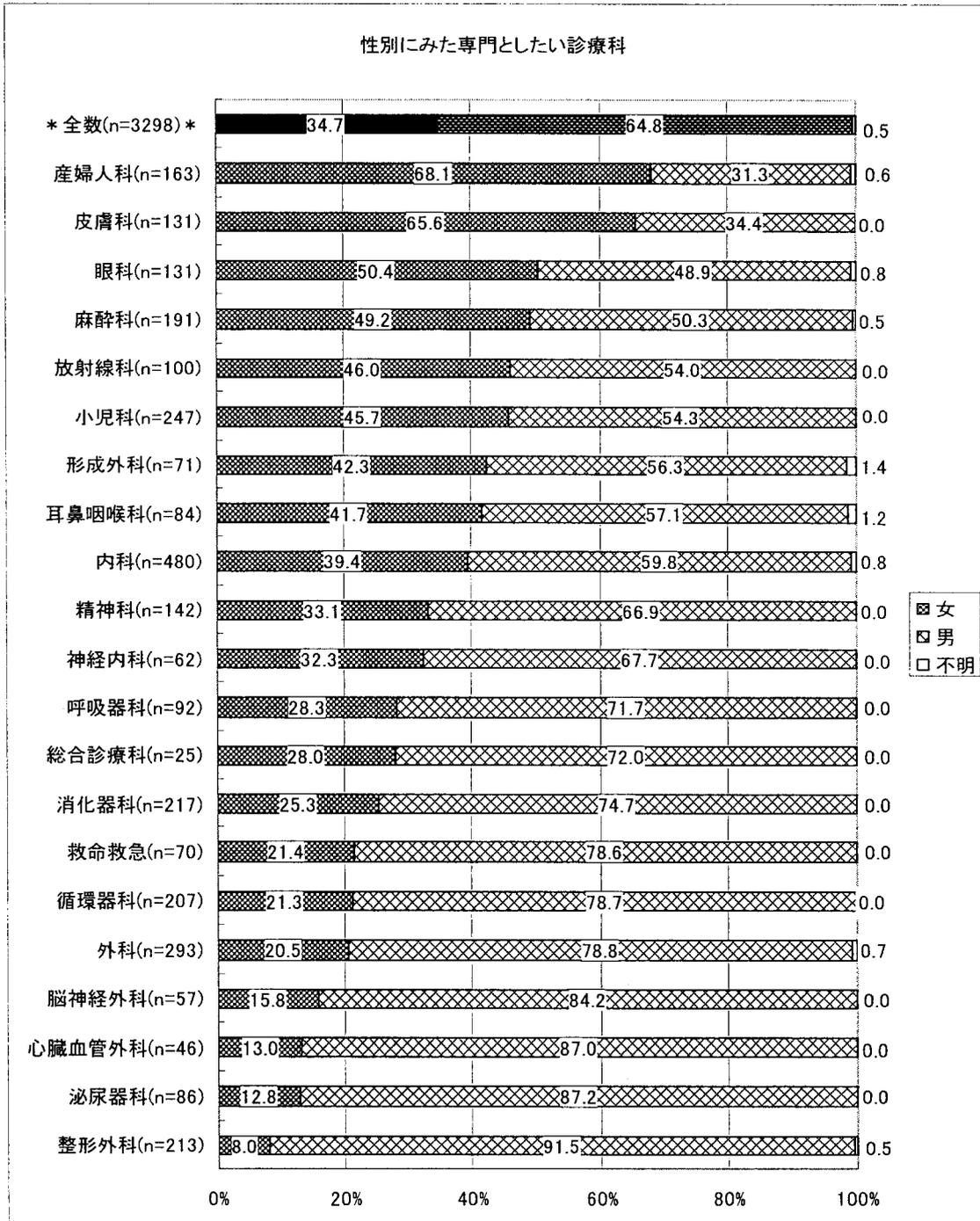
(16)(診療科別) 仕事と生活のバランスについて

仕事と生活のバランスについては、「仕事に全力を傾ける」「どちらかという仕事と生活を大切にすることを重視する」を選んだ者は26.6%、「仕事も生活も同じくらい大切にすることを重視する」を選んだ者は52.1%、「どちらかという自分の生活を大切にすることを重視する」「自分の生活を大切にすることを重視する」を選んだ者は20.3%であった。



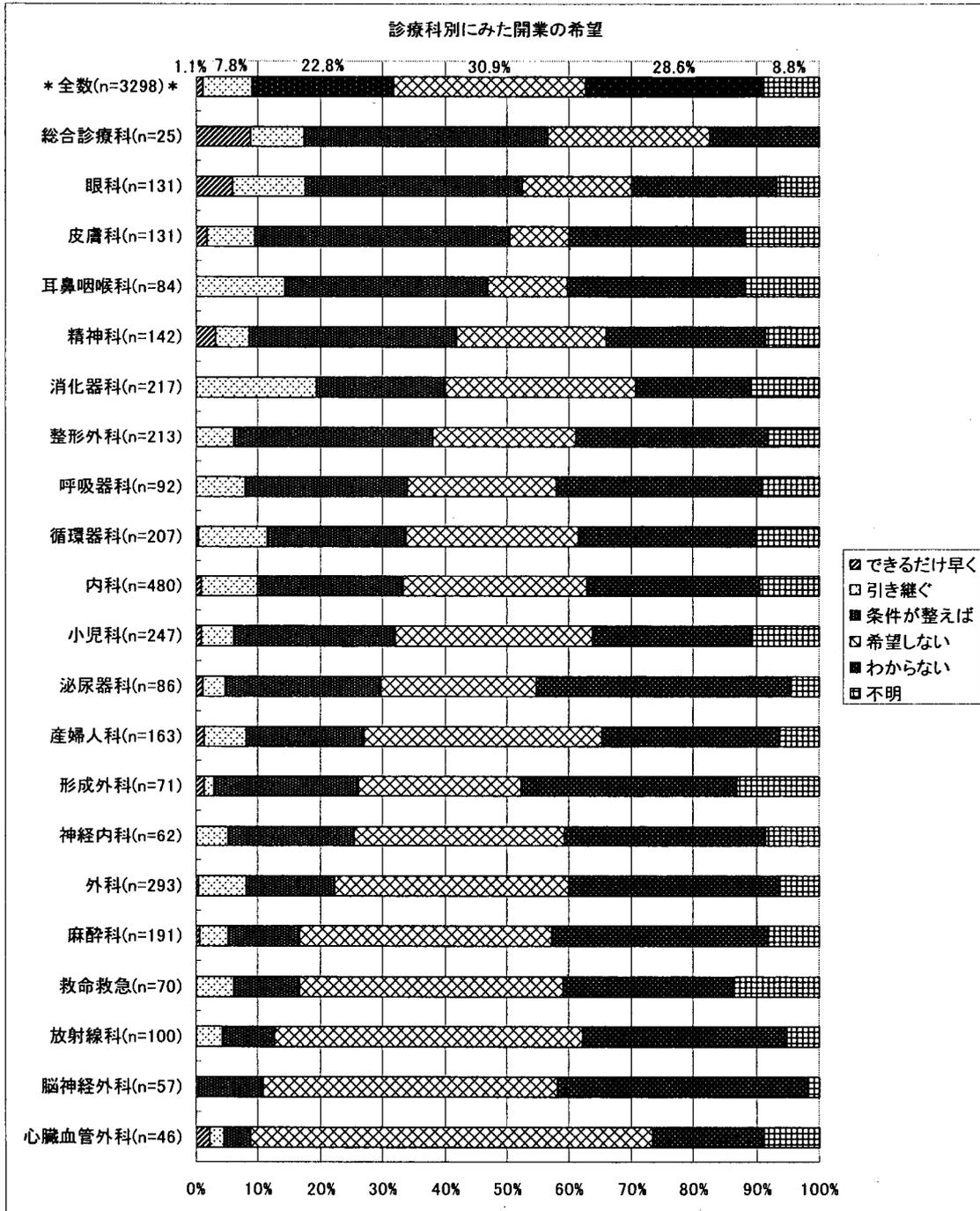
(17) 性別にみた専門とした診療科

女性医師の割合が高いのは、産婦人科（68.1%）皮膚科（65.6%）、眼科（50.4%）等であり、女性医師の割合が低いのは、整形外科（8.0%）、泌尿器科（12.8%）、心臓血管外科（13.0%）等であった。



(18) 将来の開業希望

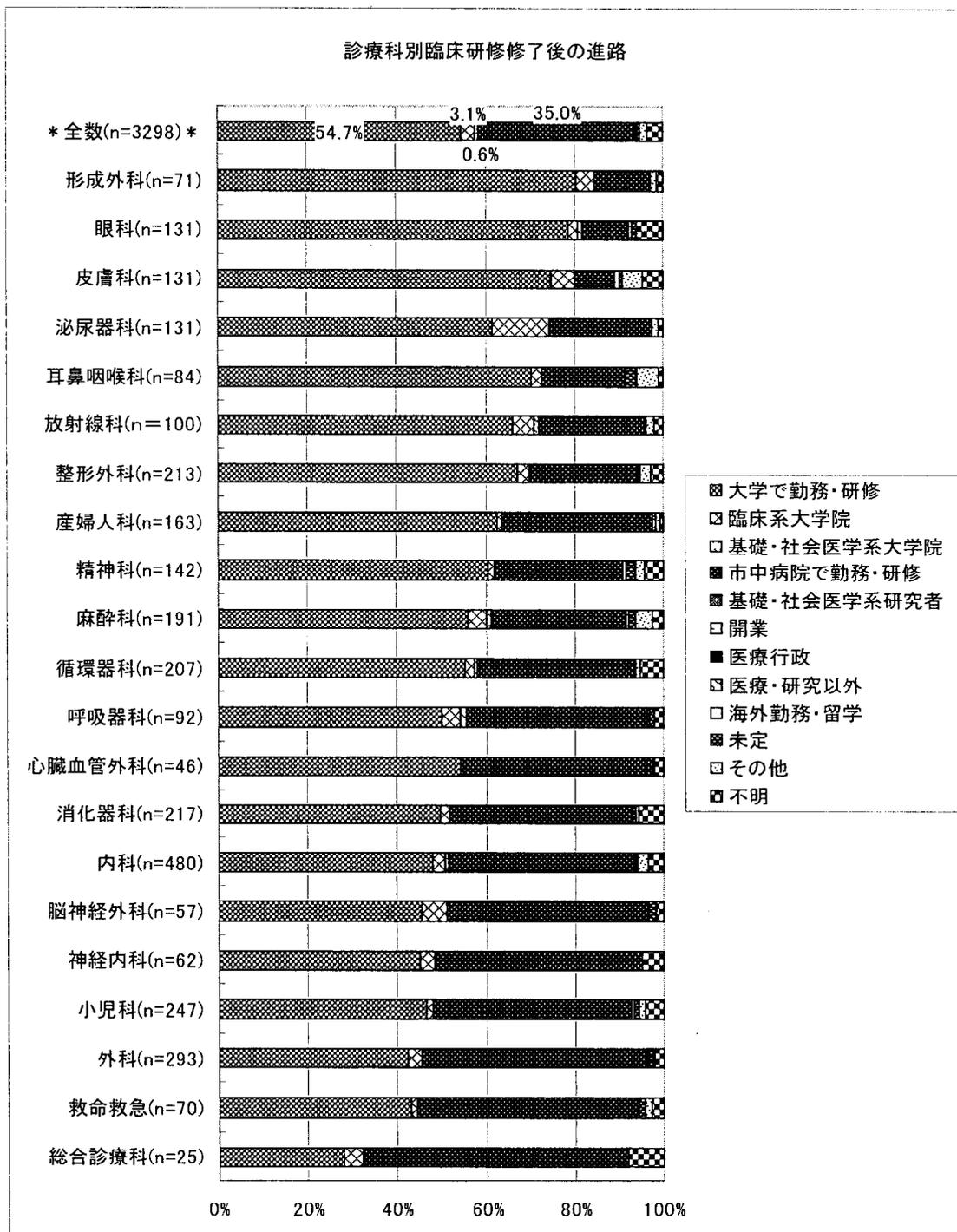
将来、開業を希望する割合（「できるだけ早く」「引き継ぐ」「条件が整えば」の計）が多い科は総合診療科、眼科、皮膚科等であり、少ない科は心臓血管外科、脳神経外科等であった。



※ 開業を希望する割合（「できるだけ早く」、「引き継ぐ」、「条件が整えば」の計）順

(19)(診療科別) 臨床研修修了後の進路

大学病院で勤務・研修する割合が高い科は、形成外科、眼科、皮膚科等であり、市中病院で勤務・研修する割合が高い科は、総合診療科、外科、救命救急等であった。

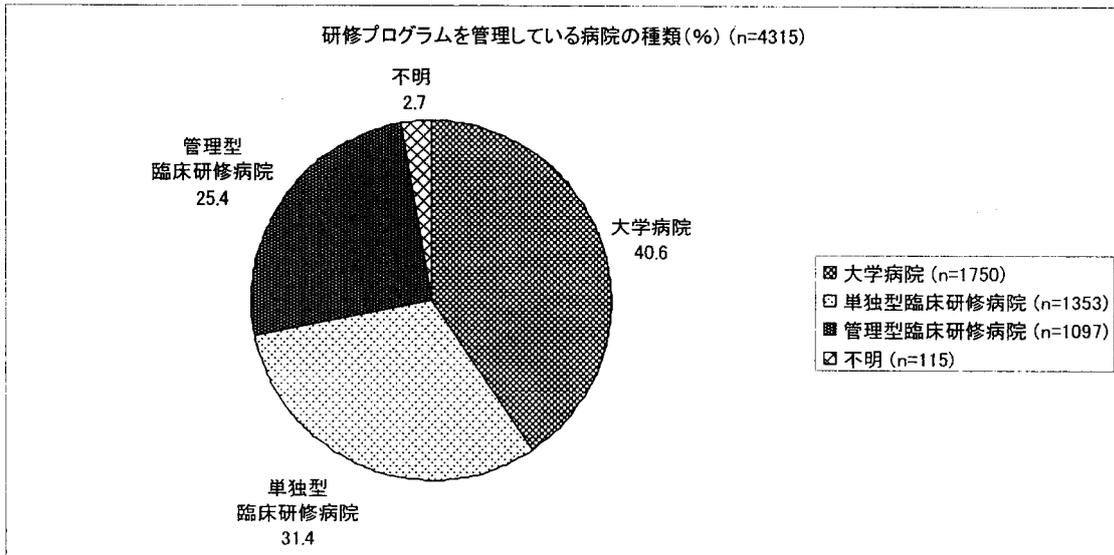


2. 研修1年次生に関する調査

(1) 研修医のプログラムを管理している病院について

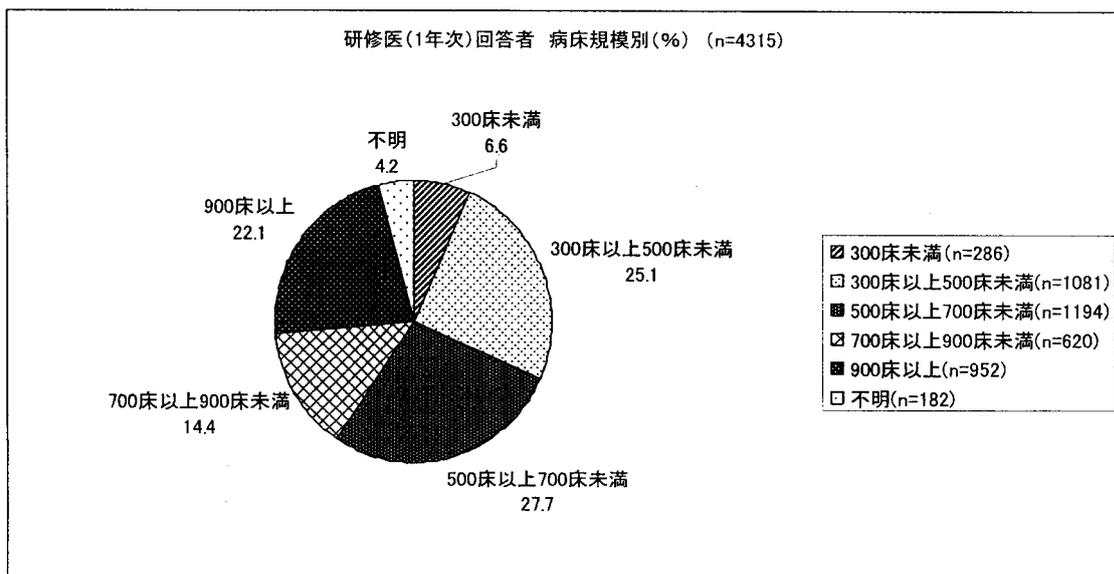
1) 研修医のプログラムを管理している病院の種類

研修医のプログラムを管理している病院は、大学病院 40.6%、臨床研修病院 56.8%であった。



2) 研修プログラムを管理している病院の規模

研修プログラムを管理している病院の規模は、300床未満 (6.6%)、300床以上500床未満 (25.1%)、500床以上700床未満 (27.7%)、700床以上900床未満 (14.4%)、900床以上 (22.1%) であった。

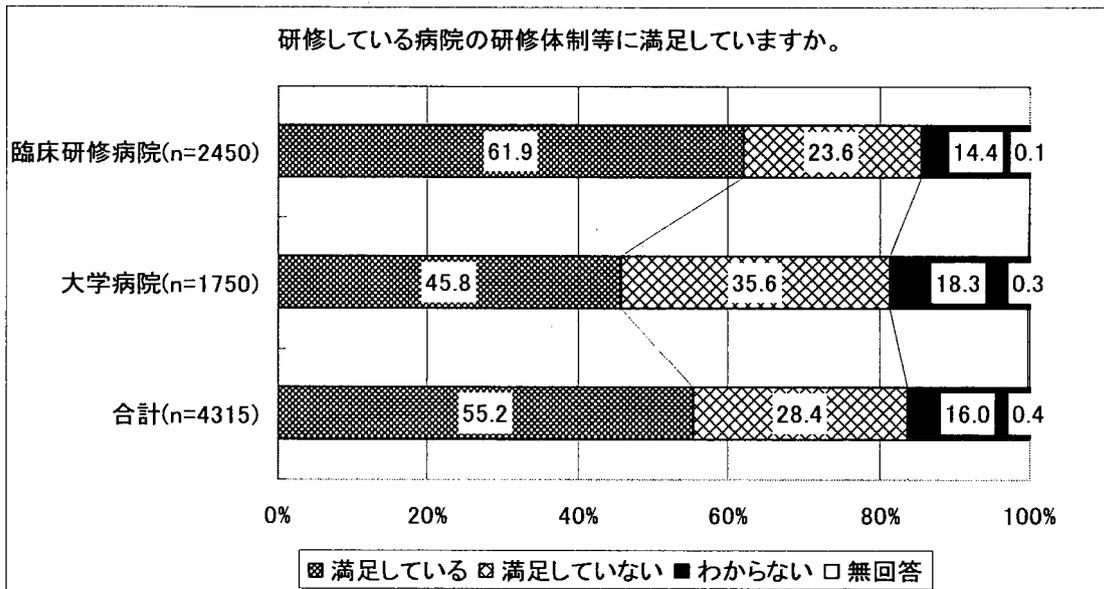


(2) 臨床研修病院・大学病院別分析（研修体制・プログラムについての満足度）

1) 研修体制についての満足度

病院の研修体制について満足している者の割合は、臨床研修病院において61.9%、大学病院において45.8%であり、満足していない者の割合は臨床研修病院において23.6%、大学病院において35.6%であった。

昨年度（1年次研修医）の満足度と比較すると、臨床研修病院よりも大学病院において、満足している者が増加している。



<参考>平成16年度「臨床研修病院及び臨床研修医に対するアンケート」

